

樹医からのアドバイス (Vol.14)

～樹木を愛し、木を育てる心を持つことが大切です～

出雲市樹医センター

樹医 高橋 義則

暮らしの中で、木と共に生きることはとても大切です。そして樹木から受ける恩恵も計り知れません。今回は庭木のせん定について紹介します。
身近な樹木を大切に育て、親しみをもちましょう。

【せん定で樹木の形を整え、育成を促しましょう】

せん定をする際には最初に木全体のバランスを考えます。

樹木の形を整えるため、枝葉の長さを均一にしましょう。枝葉を適切に切ることで、日照や風通しを良くし、光合成を促します。また、余分な枝を除去することで、樹木の衰弱を防ぐことができます。

切りすぎや、不適切なせん定は樹勢を低下させることがあるため、注意が必要です。樹種により、適切なせん定時期などが異なりますので、お困りの際は樹医へご相談ください。

【樹木に親しみましょう】

これから春が近づき、公園や庭園も冬とは違う表情が見られます。みなさんも日ごろから樹木に親しみ、樹木を通して、四季折々の風景を楽しんでみてはいかがでしょうか。

身近な公園や庭園が友愛の森として親しまれ、木の持つ暖かみや温もりが家庭や職場に伝わり、明るい暮らしが送れることを願ってこの詩を書きました。

庭園の森
梅がほころび
春の香がする
季節は移ろい
桜 爛漫と咲く
ふじやぼたんの
花も薫る蝶が舞う
風雪百年に耐える
黒松の雄姿は
銀の輝きがある

公園の森
和らかい陽の光が
森にこぼれる
繁みの中に小鳥の声
四季に花を付ける
希望の木々がある
ツツジ アジサイ
サルスベリ サバンカ
蕾が次から次へと
面白く咲いてくれる

